

解 答 速 報

東海大学医学部 英語

2024年2月2日実施

	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11
	イ	ウ	イ	ア	イ	ア	エ	ア	エ	ウ	ウ
1	問 12										
	1	2	3	4							
	T	F	F	F							
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	イ	ア	ア	ウ	イ	ウ	ア	イ	イ	イ	
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	ア	エ	ウ	イ	エ	エ	イ	ア	ウ	ア	
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	ア	エ	ウ	エ	イ	イ	エ	ウ	ア		
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)		
	ウ	ア	エ	イ		ウ	ウ	ウ	ア		

7	(1) 触覚と味覚は役に立っていなかったが、中枢の脳が、透明な壁越しに見えた報酬の場所まで自分の腕を導いた可能性はある。
	(2) タコは、動物には珍しく、他種の個体の顔を識別できるだけでなく、人間をからかいさえする。
8	(1) What is more surprising, when the participants watched silent videos, the AI provided fairly accurate descriptions of them. (別解) What's even surprising is that when the participants watched videos without sound, the AI generated an approximate description of the videos.
	(2) The researchers believe that these findings will help patients who have lost the ability to speak due to some factors such as stroke, to express themselves. (別解) The researchers believe that these results will be helpful when patients who cannot speak for some reasons, including stroke, express themselves.

1

問1 「第1段落によれば、鳴鐘法は_____だと推測できる」

正解は、イ「かつてに比べ人気がなくなっている」。第1段落最終文に「しかし、鳴鐘法の持つ歴史的価値や文化的価値にもかかわらず、この慣行への関心は次第に失われており、その未来は現代社会においてはなほだ心許ない」である。

問2 「第2段落によれば、_____だと示されている」

正解は、ウ「ステッドマンは複数の鐘を鳴らす実践法について執筆した」。第2段落第3文に「ステッドマンはこの本の内容を補うため、『鳴鐘法』という本を一人で執筆し、1677年に公刊した。その中には、鐘を5から8個使った方法が新たに53通り説明されていた」とある。

問3 「第3段落によれば、転調鳴鐘法に関して正しくないのは次のうちのどれか」

正解は、イ「それは鐘を最大で5つ使用して行われる」。第3段落第2文に「これを行う際には、鳴鐘係が集団で参加する。彼らは、それぞれに調律された5から12個の鐘の下に立ち構え、数学に裏打ちされた一連の配列に従ってそれらの鐘を鳴らし、反復なしに全体的として調和のとれた音のパターンを生み出していく」とある。

問4 「第3段落によれば、鳴鐘係は_____だと推測できる」

正解は、ア「個々の鐘につながった綱を引く」。第3段落第3文に『『ハンドリング』と呼ばれる技法を用い、彼らは張力を個々の鐘の綱へと伝え、前後に揺らす際に鐘の動きを制御する』とある。

問5 「第4段落によれば、_____」

正解は、イ「それほど時間のかからない暇つぶしへのアクセスが容易になったことが、鳴鐘法の人気に影響を与えてきた」。第4段落第2文に、「すぐにアクセスできる形式の娯楽や余暇活動が普及したせいで、若い世代にとって鳴鐘があまり魅力のないものになってきている」と書かれており、これが正解の根拠になる。他の選択肢の意味は、アが「現在の選抜された鳴鐘係のグループが戴冠式の鐘を鳴らすよう要請された」、ウが「鳴鐘への参加は新型コロナウイルス感染症が拡大している時期に激増した」、エが「英国全土では、38,000人の鳴鐘係が現役で活動中だ」である。

問6 「第5段落の主な目的は_____することである」

正解は、ア「鳴鐘への参加増への障害の一つを示すこと」。第5段落第1文の「老朽化した鐘や鐘楼の維持と修繕にコストがかかること」や第2文の「鐘一つ修理するにも10,000ポンド以上の経費が必要で、小さな教会やコミュニティの組織では、鐘楼を維持するのにも寄付をあてにする」が正解の根拠である。他の選択肢の意味は、イが「高価な鐘の修繕や維持を賄うために寄付を募ること」、ウが「鐘楼を創建時の姿に復元するために用いられる方法を述べること」、エが「鐘や鐘楼の中にどれほど古くて使いものにならないのがあるかを示すこと」である。

問7 「第6段落で superseded に最も意味が近いのは_____である」

正解は、エ「~にとって代わられた」。他の選択肢の意味は、アが「研究された」、イが「みなされた」、ウが「批判された」である。

問8 「最終段落によれば、_____」

正解は、ア「鳴鐘をスポーツだと認めることは、鳴鐘法を財政支援することにつながるだろう」。最終段落第2文の「資金へのアクセスを増やして若者にアピールするために、Michael Wigneyのような奏者が鳴鐘をスポーツに分類するよう要請している」が根拠となる。他の選択肢の意味は、イが「鳴鐘は、まだ世界無形遺産に登録されていない」、ウが「歴史的に見れば、鳴鐘への参加はジェンダーの点でバランスが取れている」、エが「LDBC BRのMichael Wigney自身、鳴鐘係になることに興味を持っている」である。

問9 「本文によれば、CCCBR に関して正しいのは次のうちどれか」

正解は、エ「2022年の秋に、教会の鳴鐘係を新しく採用することに関与した」。第4段落第3文が根拠となる。その1文のおよその意味は「2022年の秋、CCCBRが国王チャールズ3世の戴冠を祝賀するべく8,000名の新人に、30,000の現在活動している鋳鐘師がイギリスの38,000個の教会の鐘を鳴らすのを手伝うよう招集をかけたとき、～」である。

問10 「本文によれば、正しくないのは次のうちどれか」

正解は、ウ「鐘を鳴らすことは、鳴鐘係が自由に鐘を打つことを許容する即興的な芸術形式である」。文章全体を通じてこのような記載はないことと、第2段落第2文と最終文も根拠となる。第2文によれば、「複数の鐘を用いた鳴鐘の技法と様式が～に最初に発表され」たとあり、最終文によれば、「鐘を鳴らす技法は1891年にさらに標準化され」たとある。ここから、鐘を鳴らす技法はある程度体系化されており、必ずしも鳴らす人の即興ではないことが読み取れる。

問11 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」

正解は、ウ「鳴鐘：複雑な芸術ならびに21世紀におけるその位置」。タイトルの前半部分は、第3段落第1文から読み取れる。その意味は「英国式の決定的な特徴の一つは、『鳴鐘を変える』複雑な技法である」である。これに関連して、鳴鐘の伝統技法と歴史が、第1段落から第3段落まで述べられている。また、第4段落以降は、鳴鐘法の衰退に関する議論が展開されている。とりわけ、第6段落最終文では、今日のソーシャルメディアと比較して、「伝達の道具としては、鳴鐘は廃れたものにいまやなっている」とある。また、第7段落では、同第2文にあるように、資金調達をしやすくし、若者の関心を集めるため、鳴鐘をスポーツとして分類すべきという提案や、同第4文にあるように、女性や子どもの参加を促進するなどの試みが紹介されている。そして、同最終文にあるように、「こうした運動は、教会の鐘はまだ引導を渡されていないということを示している」とある。以上より、タイトルの後半部分も本文の記述から充分読み取れるため、ウが正しいといえる。

問12 「本文に従って、選択肢の文が正しければ“T”を、誤りならば“F”をマークしなさい」

1. 「英国には、20,000以上の教会の鐘がある」

正解はT。第1段落第3文に「今日、英国だけでも、50,000以上の鐘楼があり、それぞれ5~12個の鐘がある」とあり、掛け算すれば、鐘の数は25,000~600,000個あることがわかる。これは正しい。

2. 「鳴鐘の技法の始まりは1,600年代である」

正解はF。第2段落第1文に「鳴鐘法は1,000年以上前の中世にまでさかのぼることができる」とあることから、鳴鐘法の起源が1,600年代であるのが誤りだとわかる。これは誤り。

3. 「CCCBRは、今はLDGCBRとして知られている」

正解はF。CCCBRは、第2段落第4文で「英国式鳴鐘法を調整し、規制し、促進する団体」と説明され、LDGCBRは、最終段落第2文で「Michael Wigneyが代表を務める団体」と説明されていることから、両者は別の団体であるとわかる。これは誤り。

4. 「驚くべきことに、鳴鐘は、現代のソーシャルメディアと同様に効率的なコミュニケーションの手段である」

正解はF。第6段落最終文に「鳴鐘は、文化的にも歴史的にも理由があって存続してはいるが、コミュニケーションの道具としては、今はいささか時代遅れである」とあることから、これは誤り。

2

1. イ the more honest
空所の直後に of the two princes とあることに注意する。ここで2者間での比較で、より「～な方だ」という意味にする。
“~, the more honest of the two princes ...”
「～2人の王子の中で、より正直な方が…」
2. ア to be distracted
distracted は「～の注意を逸らす」の意味。注意を逸らされる対象の My mother が主語になっていることと、like の目的語として成立させるために、受動の形の不定詞を選ぶ。
“My mother doesn’t like to be distracted while she’s knitting;”
「私の母は、編み物をしている間に注意を逸らされるのが好きでない。」
3. ア in
選択肢の中の前置詞は、先行詞 a large scale に後置修飾をする関係代名詞節を成立させるために、関係詞節になる部分の中の involved に注目する。be involved in ~ 「～に関係する」
“A large-scale project in which my colleagues have been involved for years~”
「私の同僚が数年間関わってきた大規模な計画は～」
4. ウ differentiate
ア different 形容詞「異なった、様々な」 イ differently 副詞「それとは違って」
ウ differentiate 動詞「見分ける、区別する」 エ difference 名詞「差異、違い」
“The test question asked us to differentiate between three similar forms of government.”
「そのテスト問題は、3つの似たような政府の形態を区別することを求めている。」
5. イ from what
hear が他動詞であることと先行詞がないことから、空所に入れる関係詞は what を選ぶ。
“~, but from what I’ve heard, ...”
「～, しかし私が聞いたことから判断すると、…」
6. ウ whoever
空所には直後の動詞 win の主語の役割と名詞節を形成する接続詞の役割を持つ whoever を選ぶ。
“~, as whoever wins the position of president ...”
「～, なぜなら社長の役職に就く人はどんな人でも…」
7. ア so bright a
副詞の so を用いる場合、<so 形容詞 a 名詞>の語順になる。
“She was so bright a student that ~”
「彼女はとても聡明な生徒であったので～」
8. イ Be
<Be that as it may ~>で「たとえそうだとしても、～」という意味になる。
“Be that as it may, I still trust him.”
「たとえそうだとしても、私はまだ彼のことを信頼している。」
9. イ her of her luggage
<relieve A of B>「A (人) から B (もの) を取り除く」という意味になる。
“The porter, ~, relieved her of her luggage ...”
「そのポーターは、～, 彼女の荷物を持ってあげることにして…」
10. イ sells well
主語である furniture は不可算名詞であり、三人称単数扱いをする。ここでの sell は自動詞で、「売れる」という受動の意味がある。
“~, furniture ... sells well.”
「～, …家具はよく売れる。」

3

1.	ア	<u>a consultation</u>	「相談, 協議」	= a discussion
2.	エ	<u>stuck together</u>	「協力し合う, 団結する」	= were loyal to each other
3.	ウ	<u>impeded</u>	「～を遅らせる, 邪魔をする」	= obstructed
4.	イ	<u>suffers from ~</u>	「～で悩む, 苦しむ」	= is affected by
5.	エ	<u>whistle-blowers</u>	「たれ込み屋, 情報提供者」	= informers
6.	エ	<u>went to extraordinary length</u>	「(～するためには) 何でもする」	= made a great effort
7.	イ	<u>diagnosis</u>	「診察, 診断」	= evaluation
8.	ア	<u>prestigious</u>	「名声のある, 一流の」	= honorable
9.	ウ	<u>a deviation from the norm</u>	「規範, 標準からの逸脱」	= unusual
10.	ア	<u>feasibility</u>	「(実行, 実現) 可能性」	= practicality

4

1. ア 「リサが “Don’t come crying to me.” と言うとき, おそらく, 他のハイカーは_____すべきだということをおうとしている」
5つ目の Lisa の発言後半で “I’m turning around and going back. Who’s with me?” とあり, Lisa は来た道に戻ることを提案し, 賛同者を募っている。しかし, 残り3人はこの意見には賛同しなかったため, Lisa は, 他の3人が選択した行動の結果, 何があっても泣きついてこずに自分たちで責任をとることを求めていることがわかる。よってアの「自分たちのとる行動に責任をとり, その結果を直視(する)」が正解。
2. エ 「対話によれば, ハイキングに関して次のうちどれが間違っているか」
2つ目の Sarah の発言第5文に “We might even come across some other hikers on the way who can help us with directions.” とあり, これから先, 他のハイカーに出会うと, 指示を仰げる可能性が示唆されているだけで, 他のハイカーに出会ったことは本文には書かれていない。よってエの「そのグループは道で他のハイカーからアドバイスを受けた」は誤り。
3. ウ 「対話によれば, どれが真実である可能性が高いか」
3つ目の Mitch の発言最終文に “Let’s keep going!” とあり, Mitch の提案が示されている。その後, 5つ目の Sarah の発言に “Sorry, Lisa. I’m with them.” とあるが, この them は, 直前に Lisa の提案を拒否した Mitch と John である。よって, Sarah は, Mitch の提案を受け入れたことが読み取れる。ウの「サラは結局ミッチの案を受け入れた」が正解。
4. エ 「対話によれば, _____だと推測できる」
1つ目の Lisa の発言第3文に “This graduation trip is starting to feel a lot less fun.” とあり, 4人は卒業旅行中であることがわかる。エの「ハイキング中の4人は最近まで学生だった」が正解。
5. イ 「対話によれば, 動物園を訪れる理由としてマディーが言及していないものはどれか」
4つ目の Iwan の発言最終文に “But personally, zoos make me feel sad; I haven’t been to one years.” とあり, Iwan 自身は動物園に久しく行っていないことがわかるものの, Maddie の全ての発言を通して, イの「前回, 生徒たちが同じような遠足に行って以来, 久しい」という内容の発言はない。
6. イ 「対話によれば, 学校の遠足として動物園に行くことを避けるべき理由のうちの一つはどれか」
2つ目の Karen の発言に “As teachers, we’ve also got to consider the ethics of keeping animals in zoos.” とあり, 動物園に動物たちを押し込めることの倫理性が Karen により問題視されている。また2つ目の Iwan の発言後半に, “~, but I just think there are other ways to support conservation efforts that don’t involve keeping animals in captivity.” とあり, Iwan も動物を檻の中に入れなくて済む動物保護の方法があると考えている。4つ目の Maddie の発言後半に, “~, but you’ve convinced me to rethink.” とあり, 動物保護の観点から動物園に肯定的であった Maddie も考え直そうとしていることが伺える。その後, 動物園の否定的側面を考慮に入れて上で, “the Bloom Sanctuary” や “the Indigenous Mammal Center” といった候補が上げられている。よってイの「動物園に行かなくても, 生徒た

ちが似たことを学べる，倫理にかなった選択肢がもっとある」が正解。

7. ウ 「対話によれば，Karen が最も賛同しているのは次のどの意見か」
3つ目の Karen の発言に “Yeah, there are non-profit organizations that promote sustainable tourism by allowing people to see animals in their natural ecosystems while using tourist dollars to protect them” とあり，Karen は，自然に生息する動物を人々に見せながら，そこで得た利益で動物の住む生態系を保護するサステイナブルツーリズムを肯定的に捉えている。つまり，エの「ツーリズムは利益と(動物の生息)環境保全のバランスがとれていれば，野生動物のためになる」は Karen の意見にかなり近いと考えられる。
8. ウ 「対話後に3人の教師が選択する可能性が最も高いのはどの場所か」
5つ目の Karen の発言第1文で “the Indigenous Mammal Center” を候補に挙げている。それに続く Maddie と Iwan の発言より，残りの2人が Karen の意見に賛成していることがわかる。5つ目の Karen の発言第2文に，“It's a place that works to rehabilitate and release injured local wildlife.” とあり，この施設は，怪我した地元の野生生物にリハビリを施して自然に戻す仕事をしていることがわかる。よって，ウの「地元の野生生物を救い出す施設」が正解。
9. ア 「マディーが “an uphill battle,” と言うとき，おそらく，_____ ということをおうとしている」
下線部を含む6つ目の Maddie の発言後半に，“~, but seeing the animals up close might help.” とあり，help の後ろは “students to be excited about area wildlife” が省略されている。この部分は「しかし，間近で動物を見れば，野生生物という分野に生徒たちが目覚める助けになるかもしれない」という意味。よって，間近で動物を見る機会がない場合は，この分野に生徒が目覚めるように仕向けることは，困難な仕事だと考えられる。ちなみに，uphill は「困難な、骨の折れる」という意味。アの「困難な仕事」が正解。

5

- 問1 ウ 「チョコレートの原料カカオ豆」について。冒頭の3でチョコレートについて書かれており，この中にある **chocolate** を受ける It が1にあることから3 → 1が決まる。1で「チョコレートの原料が **cocoa beans** である」と述べられて，これを受ける **these beans** が4にあるので3 → 4と続く。4では「カカオ豆の消費は今から数千年前にアメリカ大陸で始まった」と述べられ，この内容を受けて2の “**Today, however, ~**” に続く文で「今日ではカカオ豆の多くがアフリカ大陸で栽培されている」と書かれているので4 → 2という順序が決まる。よって，3 → 1 → 4 → 2が正解。
- 問2 ア 「中国で話されている言語」について。冒頭の4で「中国では国民の9割以上が標準中国語を話す」と書かれている。2では “**There are also ~ variants**” 「そのほかに~変種がある」と述べられているので4 → 2と決まる。1の中にある **they** は2の中の **variants** を指すと考えられることから2 → 1と続く。1では「標準中国語以外の変種を言語に分類するか，方言に分類するかが議論されている」と書かれており，これを受けて3の始めに “**Either way, ~**” 「いずれにしても」とあるので1 → 3という順序が決まる。よって，4 → 2 → 1 → 3が正解。
- 問3 エ 「量子コンピュータ」について。冒頭の3で量子コンピュータは **qubits** 「量子ビット」を使用することが述べられている。4が “**This occurrence of quits allows ~**” から始まり，「量子ビットを使用するおかげで，量子コンピュータは従来型コンピュータよりも計算速度がはるかに速い」とあるので3 → 4と決まり，更に1の中にある **this increase in speed** は3で述べられている計算速度の増加を指すことから3 → 4 → 1という並びが決定するので，正解となる選択肢はエ。3 → 2 → 4 → 1以外にはない。「従来型コンピュータと量子コンピュータの仕組みの違い」が述べられている2が，3と4の間に置かれることに不自然さはない。
- 問4 イ 「懐疑主義者」について。冒頭の4では懐疑主義とは何かが述べられている。そして，それをさらに詳しく説明するために3で「懐疑主義者がどういうことを行うか」が述べられているので4 → 3と続くのが自然である。1の始めにある **They** は3にある **skeptics** を指すと考えられるこ

とから 3 → 1 と続く。そして 1 にある **errors in reasoning or evidence** を受けて 2 の中に **such errors** があるので 1 → 2 という順序が決まる。よって、4 → 3 → 1 → 2 が正解。

6

- (1) ウ 空所(1)を含む 1 文のおよその意味は、「2019 年の任意の月における旅行者数は 2017 年の同じ月よりも～であった」である。グラフから、どの月の旅行者数も 2019 年が 2017 年を上回っているため、“higher than” を選ぶ。
- (2) ウ 空所(2)を含む 1 文のおよその意味は、「2017 年と 2019 年を比較して、各月における旅行者数の差の最大値は 100 万人以上であり～に記録された」である。グラフから、両者の差が最も大きく 100 万人を超えているのは “July” である。
- (3) ウ 空所(3)を含む 1 文のおよその意味は、「2018 年に最も少なかった月間旅行者数は～であった」である。グラフから、2018 年に月間の旅行者数が最も少なかったのは、“January” で 400,000 人である。
- (4) ア 空所(4)を含む 1 文のおよその意味は、「2019 年～、2018 年の同じ月よりも旅行者数が少なかった」である。グラフから、2019 年よりも 2018 年のほうが月間旅行者数が少ない月は、“August” “September” “October” “November” という連続した 4 ヶ月なので、“For four consecutive months in” を選ぶ。

7

- (1) “Useless though the senses of touch and taste were, ~”
「触覚と味覚は役に立っていなかったが、～」
<形容詞+though+名詞+be> で「～だけれども」の意味。
“~, it was possible for the central brain to guide the arm to the reward that the eyes could see through the transparent walls.”
「中枢部の脳が、透明な壁越しに見えた報酬の場所まで自分の腕を導いた可能性はある」
- (2) “Not only is the octopus one of the rare animals that can distinguish the faces of individuals outside its own species, ~”
「タコは、動物には珍しく、他種の個体の顔を識別できるだけでなく、～」
<Not only~, ...> カンマで but (also) を代用している。Not only が文頭にくると倒置が生じる。
“~ it will go so far as to play pranks on humans.”
「人間をからかいさえする」
<go so far as to do ~> で「～しさえする」の意。play pranks on ~ は「～をからかう」の意。

8

- (1) 「さらに驚くべきことは、～」 What is more surprising, / What is even surprising is that ~ など。
「実験参加者」 the participants / the subjects など。前者は、本文中で複数回使われている。
「音声無しの動画」 silent videos など。
「その動画のおおよその描写」 fairly accurate descriptions of them / an approximate description of them.
「生成された」 generated / provided など。generate は 6 行目で使われている。
- (2) 「結果」 findings / outcomes / results など。
「～に役立つ」 help O (to) do ~ など。
「脳卒中などの理由で」 due to factors such as stroke / for a variety of reasons, including stroke など。
「話す力を失った」 cannot speak / have lost the ability to speak / deprived of speech など。
「自己表現する」 express themselves / give self-expression など。

講評

- 1 [長文内容一致] (標準) 「鳴鐘法(campanology)の歴史と現在」に関する英文。内容、設問ともに特に難しいところはないが、一部判断に迷う設問がある。全体としては、しっかりと得点したい。
- 2 [文法四択] (標準) 典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。
- 3 [同義語選択] (標準) 難しい単語はなく正解を選びやすい。知らない単語も、文脈から判断可能。
- 4 [会話] (標準) 前半は「ハイキング中の今後の行程をめぐる内輪もめ」。後半は「中学生の遠足の候補地に関する教師の議論」。各設問の選択肢は正誤の判断をつけやすいものが多いが、一部判断に迷う設問がある。
- 5 [文整序] (やや易) 指示語、代名詞、マーカーを判断基準にして答えを出せる設問が多い。
- 6 [図・グラフ] (易) グラフを正確に読み取る力を試す問題だが、特に難しくはない。
- 7 [和訳] (やや難) 「タコが備える高度な知能」に関する英文。構造を正しく把握するのが難しく、一部難しい単語も含まれ、差がつきやすい設問になっている。
- 8 [英訳] (標準) 「脳の活動パターンを AI に学習させることで人間の思考を読み取る研究」に関する英文。語彙や典型表現の知識で差がつく設問になっている。


大問構成、全体の問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は 70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校 メビオ</p> <p>☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/</p>	 <small>heart of medicine</small> YMS 医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校	<p>☎ 03-3370-0410 https://yms.ne.jp/</p> <p>☎ 0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	 登録はこちらから
---	---	---	---

後期入試もチャンスあり！最後まで諦めない受験生をメビオは応援します

医学部後期模試

2/16(金) 近畿大学医学部  詳しくはこちら
 2/19(月) 金沢医科大学

医学部後期入試

ガイダンス  詳しくはこちら
 2/4(日) 14:00~14:30
 大阪梅田ツインタワーズ・ノース

詳しくは Web または お電話で